

# 誠意・熱意・創意の三意で、 国内外へ販路拡大 世界に通じる『モノづくり』を

東京精密器具製作所



東京精密器具製作所(大田区北糀谷、西ヶ谷邦夫社長、03・3744・6267)は、昭和3年の創業以来、一貫して専用工作機械の設計・製作に取り組んでいる。お客様から要望や問題点などを行い、実際の生産場面を想定した設計を実施、製造工程に必要とされる部品の製作も社内で行う。そして、すぐれた組立加工技術によって『設備としての完成度の高いもの』をつくり上げている。完成した設備は、お客様に納得いただけるまで何度も調整作業を繰り返し、万全の状態の出荷となる。

最近では、アジア、ヨーロッパなど西ヶ谷社長自ら海外へも幅広く足を運び、新たな販売ルートの開拓に余念がない。昨年、中小企業の海外進出促進のため企画されたインドネシア視察に参加した折も、その空き時間を使って、以前より取引のあった大手機械メーカーのジャカルタ工場を訪問した。社長の熱意が伝わり、現地工場と直接

取引できる販売ルートの確保につながった。これにより機械を輸出する際、間に他の業者を介さずに取引できるため、今までよりも安く製品を提供することが可能となり、お客様にも大変喜ばれる結果となった。製品はすべて日本で製造し出荷、設置に関しては現地スタッフが手がけるが、お客様の要望があれば出張も可能とのこと。

「国際化が進む現代でも、永年培った職人技を活かしながら新しいものに挑戦し続けているからこそ、国内だけにとどまらず世界に通用するモノづくりが可能になっていると思います。『関係するすべての人々の幸福を追求する』という我が社の企業理念のもと、これからも常に技術力で選ばれるプロ集団として進化し続けたい」と西ヶ谷社長は語る。この社長の意気込み・機動力の高さ・柔軟な対応力が、好評価・信頼につながっている。

